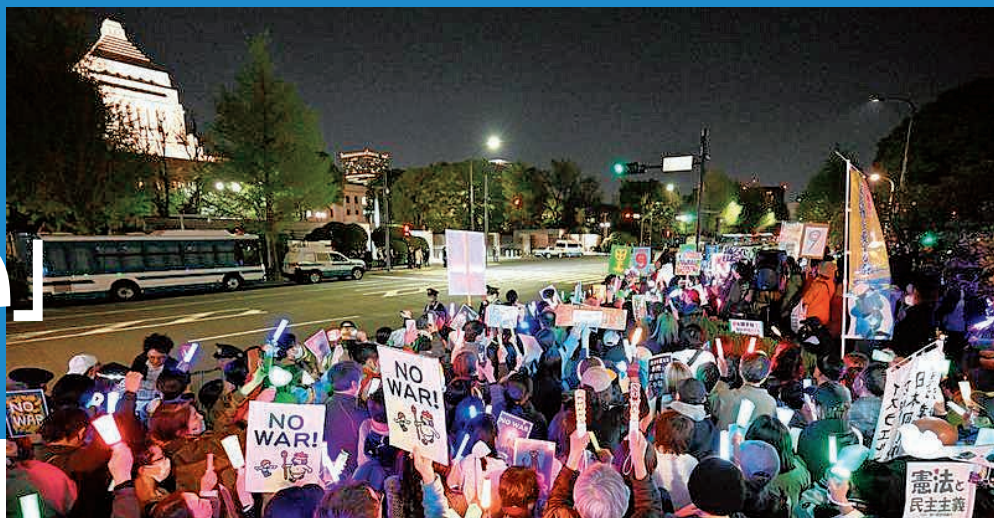


アメリカ・イスラエルの

イラン攻撃「支持しない」

86% ANN 3月21日・22日 世論調査

「憲法も守る「さあ行こう平和の道」とコールする人たちが=8日、国会正門前▶



イラン戦争終結の外交交渉-米国とイランへ働きかけを

イラン戦争終結へ外交交渉開始を 田村委員長が高市首相に申し入れ

日本共産党の田村智子委員長は3日、高市早苗首相に、イラン戦争終結のための外交交渉の開始を米国とイランに働きかけるよう申し入れました。交渉の前提として攻撃停止と、再攻撃しない保証を米国に求めることをあわせて要請。木原稔官房長官が応対し「要請を受け止める」と述べました。日本共産党の山添拓政策委員長が同席しました。



▲木原官房長官(左)に要請書を手渡す(右へ) 田村委員長、山添政策委員長=3日、衆院第2議員会館

高市首相 『平和と繁栄をもたらせるのは ドナルドだけ、』

戦争と混乱をもたらしているドナルド・トランプ米大統領を天まで持ち上げ、イラン攻撃を事実上『支持、——あまりにも卑屈な姿勢ではないでしょうか。』

ウォルツ米国連大使 (※CBSテレビ、3月22日)

『日本の首相から海軍による 約束を取り付けたばかりだ、』

トランプ氏が求めるホルムズ海峡への自衛隊派遣について、米国連大使が発言。無法な戦争に日本が協力できることなど何一つありません。

ドイツ大統領

イラン交戦は「不要な戦争」 トランプ政権を痛烈批判 (時事通信3月24日付)

地方議会から

「イラン攻撃中止」意見書あいつぐ

沖縄県議会や岩手県議会、京都市議会など、「イラン攻撃中止」を求める意見書が可決。

沖縄・那覇市議会では、日本共産党市議団が文案提示などで議会をリードし、自民党を含めて全会一致となりました。

東京・清瀬市長選

共産元市議が市長に

「市民とともに市政を変えるきよせの会」から無所属(共産・社民など推薦)で立候補した原田ひろみ元市議が、自民推薦現職を破り市長に。全国4人目の日本共産党員首長です。

日米首脳会談

軍事費突出、軍拡増税——新年度予算

軍拡と原油高騰で暮らし圧迫

トランプ政権の要求にこたえて、長射程ミサイルの配備や弾薬庫の増設など、軍事費は当初予算で初めて9兆円超え。軍拡増税を開始し、国民から所得税を1%徴収。イラン戦争による原油高騰で、暮らしを圧迫しています。

比例東海ブロックニュース【2026年4月号外】 日本共産党の見解を紹介します。

発行：日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 〒460-0007 名古屋市中区新栄 3-12-25 TEL.052 (264) 0833 FAX.052 (264) 0850

東海ブロックの公式ラインにご登録ください▶



自民党政治で
株価は最高
賃金はマイナス

株価5倍
2025年
大企業の利益
3.5倍
株主への配当金
2.8倍

年収
マイナス
34万円

実質賃金
10%ダウン

2012年 2024年

タックス ザ リッチ
Tax the Rich——富める者に課税を

大企業・富裕層のもうけを 賃上げやくらし応援へ

この12年で、大企業の利益と株主への配当は2倍、3倍に(左図)。内部留保は200兆円以上も積み増し。一方で働く人の給料は実質マイナスです。

最低賃金1700円へ
中小企業を直接支援

大企業の内部留保を活用すれば、中小企業を直接支援して、大幅賃上げへ、道が開けます。

消費税減税
医療・介護の充実

大企業と富裕層へのゆきすぎた減税を見直し、3年間で2倍になった軍事費を削れば、財源はつくれます。

イラン攻撃

日本国民の生活圧迫 ナフサの供給不安で食品包装など値上げ 戦争終結こそ不安解く道

日本共産党

イラン情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰で、日用品や食品など幅広い生活必需品の値上げが加速しています。

日本共産党国会議員団は「イラン攻撃下の国民生活影響アンケート」を実施し、エネルギー価格や原材料の高騰が暮らしや営業にどのような影響を及ぼ

しているのか調査しています。2日の会見で田村智子委員長は切実な声が寄せられていると報告するとともに、「何よりも強い望みは『とにかく戦争を終わらせてほしい』という声だ」「戦争を終結させることこそが、今後の物資不足への不安に応える道にもなる」と訴えています。

今話題の本!

『資本論』がよくわかる!

Q&A いま『資本論』がおもしろい
マルクスとともに現代と未来を科学する(赤本)

志位和夫=著
新日本出版社 定価 1,210円(本体 1,100円)

Q&A 共産主義と自由
『資本論』を導きに(青本)

志位和夫=著
新日本出版社 定価 900円(本体 818円)



スクープ連発 「しんぶん赤旗」に注目

衆議院で圧倒的多数を獲得した高市政権の強権政治で生まれている新たな危険、それと真正面から対決する日本共産党への関心と期待が、申し込みと一緒に寄せられています。



ジャーナリズム賞多数受賞

しんぶん赤旗 日曜版 紙・電子版

月々 990円

日刊(紙・電子版) 月3497円

「しんぶん赤旗」日刊紙と日曜版 電子版
3週間無料スプリングキャンペーン始まります
(20日~5月31日まで)



スマホで読める
電子版



申し込みはこちら